

2022 年 3 月 16 日  
一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

## 複合機など動脈物流共同化配送を一部地域からスタート！ 全国展開に向けて活動継続

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）は、協会活動及び複合機業界の活性化のため、2021/4 から動脈物流委員会を発足いたしました。15 社（9 メーカー）が参加をして共同配送に関して検討してきました。同業界の会社は、複合機やプリンタの配送に際し、①月末・期末集中や時間指定配送による物流波動、②短リードタイムや受注日当日出荷による高レベルの配送サービス、③地方配送における低積載配送等の課題を持っていました。さらに、トラック業界における人手不足や働き方改革が相まって、『運べないリスク』を実感していました。これらの課題を解消するために、目的、狙い、共同化に向けたコンセプトを設定、2021/11 に北海道道北地区でラストワンマイルの共同配送先行実施を開始いたしました。北海道に関しては、全域をラストワンマイル共同化とサービスレベルの見直しを行うことで、トラック台数と CO2 排出量をそれぞれ約 50%の削減が可能です。今後、全国展開に向けて活動を継続してまいります。

### 【目的】

社会的課題となっている『運べないリスク』の解消を、環境負荷の低減・物流コストの削減と顧客満足度の維持を考慮し、共同輸送の視点で図る。（JBMIA では、1998 年から静脈物流委員会で、共同化を行ってきた実績があり、その実績・ノウハウを活かすことで動脈物流における共同配送の実現を目指すことができる。）

### 【狙い】

物流を競争から「共創」領域と捉え、社会課題を共同配送というソリューションで解消する。

### 【共同化に向けたコンセプト】

- ① 『競争』から『共創』の精神の下、持続可能な社会の実現に貢献し『運べないリスク』を解決する。
- ② 物流品質・コンプライアンスに留意し、共同物流により効率化を図りコストの上昇を抑制する。
- ③ 納品基準の標準化・納品波動の平準化を推進し、お客様への適切なサービスと安定した配送サービスを実現する。
- ④ 行政の政策と連動し、トラックドライバー不足、カーボンニュートラル等の社会的課題を解決し SDGs に貢献する。
- ⑤ 賛同できる企業からスタートし、いつでも参加を可能とする。

### 【活動内容】

最初の共同配送の検討範囲をラストワンマイルと決め、下記の活動を開始しました。

- ・分析  
都道府県別に配送密度を比較し、低密度・中密度・高密度の 3 カテゴリーに分類し、共同配送の優先度を、低密度→中密度→高密度としました。
- ・準備  
共同配送実証シミュレーションを山形南部地区で 2020/10 に約 1 カ月実施し、作業標準、リードタイム等サービスレベル、データの流し方を確認しました。
- ・先行実施エリア決定  
配送密度が最も低い北海道を 1st ターゲットとし、北海道（道北地区）で 2021/11 から共同配送を開始しました。今後、北海道全域へ展開を予定しています。北海道全域のラストワン

マイル共同化とサービスレベルの見直しを行うことで、トラック台数と CO2 排出量を、それぞれ約 50%の削減が可能です。

- ・ 全国展開スケジュールの調整

共同配送の優先度（低密度→中密度→高密度）に従い、順次全国展開を進めていきます。

【動脈物流委員会 参加企業】

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

京セラドキュメントソリューションズ株式会社

京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

コニカミノルタ株式会社

コニカミノルタジャパン株式会社

シャープ株式会社

シャープマーケティングジャパン株式会社

セイコーエプソン株式会社

エプソン販売株式会社

東芝テック株式会社

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

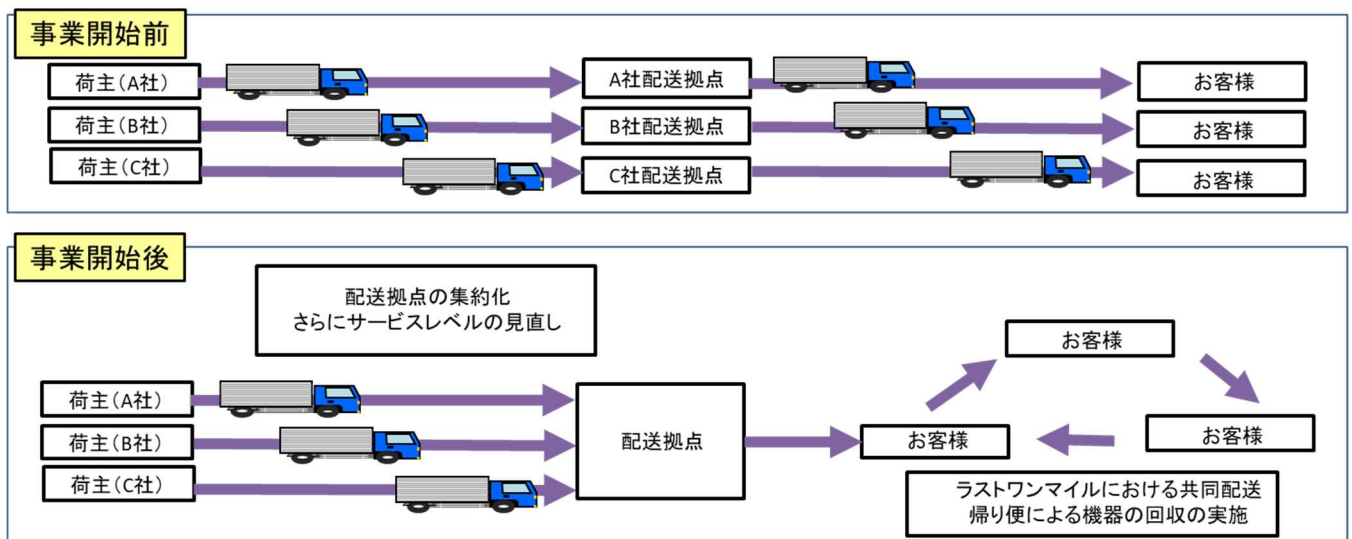
理想科学工業株式会社

株式会社リコー

リコージャパン株式会社

（実際の共同配送活動は、準備ができた企業から参加、途中からでも参加可能）

参考：ラストワンマイル共同化の概念図



以上

本件に関するお問い合わせ先：

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

TEL：03-6809-5010（代表） FAX：03-3451-1770

動脈物流委員会 事務局 中川 裕